

問 題 番 号 (配点)	設問 (配点)	解 答 番 号	正 解	自 採 欄	
第3問 (12)	A 〔2点×3〕	14	14	①	
		15	15	②	
		16	16	③	
	B 〔2点×3〕	17	17	⑤	
		18	18	④	
		19	19	③	
小 計					
第4問 (12)	A 〔2点×3〕	20	20	④	
		21	21	④	
		22	22	③	
	B 〔2点×3〕	23	23	③	
		24	24	④	
		25	25	④	
小 計					
合 計					

第3問 A

問14 What is the man probably going to do ?

W : Just a T-shirt again!

M : I don't like having lots of clothes on.

W : But it's the middle of winter. Aren't you cold?

M : A bit But I'm okay.

W : You have exams coming up soon. You know that.

M : Right.

W: If you miss them because of a cold, you can't ...

M : All right, mom. I give in.

女性：またTシャツだけ！

男性：たくさん服を着るのは好きじゃないんだよ。

女性：でも真冬なのよ。寒くないの？

男性：少しね。でも大丈夫だよ。

女性：試験がすぐ追っているわよね。わかってるでしょ。

男性：うん。

女性：風邪のせいで試験を受けそこなったりしたら、あなた・・・

男性：わかったよ、ママ。僕の負けだ。

(質問) 男性はおそらくどうするつもりか？

- ① もう何枚か服を着る。
- ② テストを受けなおす。
- ③ 風邪薬を飲む。
- ④ 彼女に真実を話す。

問 15 What does the woman mean ?

M : Do you want some chocolate?

W : No, thanks. I've been eating too many sweets.

M : So you're on a diet again?

W : Well, kind of.

M : What a shame! This is from that new chocolate shop. Should be really good.

W : Oh, no! I can't resist that!

男性：チョコレートを少しどう？

女性：いらないわ、ありがとう。甘い物を食べすぎているから。

男性：じゃあまたダイエット中？

女性：まあ、ちょっとね。

男性：なんと残念な！ これ、あの新しいチョコレート店のなんだ。すごく美味しいはずだ  
けど。

女性：えー、ダメだわ！ それは我慢できない！

質問) 女性が言いたいことは何か？

- ① 甘い物を食べるつもりはない。
- ② チョコレートをいくらか食べよう。
- ③ ダイエットを続けよう。
- ④ 次の機会を待とう。

問 16 What will the man and the woman probably do ?

W: Hey, it's getting late. Do you think that bus goes to the City Concert Hall?

M: Yeah, probably.

W: Oh, I only have a 10,000-yen bill!

M: Oh, no. Me too.

W: Do they take them on buses?

M: I'm not sure.

W: Wait. We've both got pre-paid IC cards, haven't we?

M: Right. I read you can use them for buses, too.

女性：ねえ，遅刻しそうだよ。あのバスはシティ・コンサート・ホールに行くと思う？

男性：うん，たぶん行くよ。

女性：ああ，私 1 万円札しかないわ！

男性：ああ，ダメだ。僕もだ。

女性：バスで 1 万円札使えるのかな？

男性：わからないなあ。

女性：待って。私たち二人ともプリペイド IC カード持ってるよね？

男性：そうだ。バスでも使えるって書いてあったな。

(質問) 男性と女性はおそらくどうするつもりか？

- ① プリペイド IC カードを購入する。                      ② 地下鉄に乗り換える。  
③ そのバスに乗る。                                              ④ タクシーに乗る。

**第 3 問 B**                      問 17 ~ 19

[設問解説のために，W (女性) と M (男性) の発言には通し番号をふってあります]

① W: What an interesting article!

② M: What's it about?

③ W: Coffee consumption in major cities. It says more people are drinking coffee at home than ever before. Guess which city has the highest at-home consumption.

④ M: I know that. Nara.

⑤ W: It used to be Nara, but it's fallen quite a bit there. Now Nara comes after Sakai, though it's still ahead of Hiroshima.

⑥ M: Let me try again. Nagoya?

⑦ W: Uh-uh. Who would drink coffee at home with so many cafes around? It's Tottori. Look.

⑧ M: I see.

- ⑨ W : Maybe there aren't many cafes in Tottori, so people have to drink a lot of coffee at home. Look at Yokohama. It ranks just twenty-seventh.
- ⑩ M : But then why would Takamatsu come after Sapporo and Kyoto? I bet those two cities have far more cafes than Takamatsu. And surely there are more cafes in Kanazawa than in Sakai.
- ⑪ W : Hmm ... I guess I was wrong.

①女性：なんて面白い記事なの！

②男性：何に関する記事だい。

③女性：主要都市でのコーヒー消費量についてよ。自宅でコーヒーを飲む人の数が、かつてないほど増えているって書いてあるわ。家庭でのコーヒーの消費量が一番多い都市はどこだと思う。

④男性：知っているよ。奈良市だ。

⑤女性：奈良市は以前は一番だったけど、順位をかなり下げたわ。今では堺市の次よ。それでも広島市よりは上位にいるけど。

⑥男性：もう一度挑戦させて。名古屋市かな。

⑦女性：はずれ。周りにあんなにたくさん喫茶店があるのに、家でコーヒーを飲む人はいないわよ。一番は鳥取市よ。ほら。

⑧男性：へえ。

⑨女性：たぶん鳥取市にはカフェがあまり多くないから、家でコーヒーをたくさん飲むしかないんじゃないかしら。横浜市を見て。たかだか27位よ。

⑩男性：でも、それならどうして高松市は札幌市と京都市の後に来るんだろう。この2都市には高松市よりもはるかに多くのカフェがあるはずだ。それに、金沢市の方が堺市よりもカフェが多いはずだよ。

⑪女性：そうか、私が間違っていたようね。

都市別 家庭内コーヒー消費量	
順位	都市
1	17
2	札幌市
3	京都市
4	18
5	金沢市
6	堺市
7	19

問 17 問 18 問 19 

At-Home Consumption of Coffee by City	
Ranking	City
1	<input type="text" value="17"/>
2	Sapporo
3	Kyoto
4	<input type="text" value="18"/>
5	Kanazawa
6	Sakai
7	<input type="text" value="19"/>

- ① Hiroshima      ② Nagoya      ③ Nara  
④ Takamatsu      ⑤ Tottori      ⑥ Yokohama

#### 4A 問 20

What do you think is the most common surname in America? Did you think “Smith”? You’re right. The name comes from the word “smith.” A smith is a person who works with metal, like a blacksmith or goldsmith. But are there so many people in America whose ancestors were engaged in that occupation? Probably not. One reason there are so many Smiths is that in the 19th century many slaves had masters named Smith, and slaves often took their master’s name. Their descendants have that name still. Another is that at one time many immigrants changed their surname to “Smith” because it sounded more “American.”

アメリカで一番多い姓は何だと思うだろうか。「スミス」だと思っただろうか。正解である。この名前は“smith”という言葉に由来している。smithとはblacksmith（かじ屋）やgoldsmith（金細工職人）など、金属に関わる仕事をする人のことである。だがアメリカにはこうした職業に従事していた祖先を持つ人々がそんなにも多いのだろうか。おそらくそうではない。スミス姓を持つ人がこんなにも多い理由の一つに、19世紀には多くの奴隷の主人がスミス姓であり、しばしば奴隷は自分の主人の姓を名乗ったということがある。奴隷の子孫たちはいまだにこの姓を持っている。他にも、かつて多くの移民たちが、より「アメリカ風」に聞こえるというので「スミス」に姓を変えたという理由もある。

(質問) 話し手は「スミス」という姓について何と言っているか？

- ① 19世紀にこの名前を持っていた人はほとんどいなかった。  
② それはアメリカで二番目によくある姓である。  
③ 奴隷たちは他の名前を持つことを許されていなかった。  
④ 新しくアメリカ人になった人の中には自分の名前よりもそれを好む人もいた。

問 21

Good morning! Let's go over the schedule for Day Two of our tour. First we're going to Sea World, where you'll be free to enjoy the shows and other attractions as you wish. We're scheduled to arrive at ten and leave at two. Next is a few hours of shopping at one of San Diego's best-known downtown malls. Then we're off to Pacific Beach. We'll arrive shortly after five so we can enjoy the sea breezes and a beautiful sunset before dinner. We'll have a delicious Mexican dinner near the beach at six, and we're due to arrive back at the hotel around nine.

おはようございます！ ツアー二日目の予定を確認しましょう。最初にシーワールドに行きますが、ここではお好きなようにショーや他のアトラクションを自由にお楽しみいただけます。10時到着、2時出発の予定です。次にサンディエゴの繁華街で最も有名なショッピングモールの一つで買い物の時間を数時間取ります。その後でパシフィックビーチに向かいます。夕食前に海風や美しい日没をお楽しみいただけるように、5時を少々過ぎた頃に到着予定です。6時にはビーチの近くで美味しいメキシコ料理の夕飯を食べて、9時頃にホテルに戻ることにしています。

(質問) このグループはどの順序で次の場所を回るか？

- ① ビーチ → 海のテーマパーク → メキシコ料理店 → ショッピングモール
- ② ビーチ → メキシコ料理店 → 海のテーマパーク → ショッピングモール
- ③ 海のテーマパーク → ビーチ → ショッピングモール → メキシコ料理店
- ④ 海のテーマパーク → ショッピングモール → ビーチ → メキシコ料理店

- ◇ go over ... 「…を繰り返す [復習する]」
- ◇ be free to - 「自由に - することができる」
- ◇ as you wish 「望む通りに」 as は接続詞で 「…ように」 の意味。
- ◇ be scheduled to - 「- する予定である」
- ◇ be off off は副詞で 「離れて ; 出発して」 の意味。
- ◇ We'll arrive shortly after five so we can enjoy the sea breezes and a beautiful sunset before dinner. 目的を表す so that SV 「S が V するために ; S が V するように」 の that (接続詞) が省略されている。  
(例) He works hard so (that) he can succeed. 「成功できるように精勤している」
- ◇ breeze 「そよ風」
- ◇ sunset 「日没」
- ◇ due to - 「- することになっている」
- ◇ marine 「海の」

問 22 22 正解 ③

*Original Material*

“Keep your eye upon the doughnut, and not upon the hole.” This saying tells us to appreciate what we have, not what we don't have. A coffee shop owner in New York first saw this bit of wisdom in the 1920s, in a cheap picture frame he'd recently bought. He painted the saying on the wall of his shop, where many people saw it. In 1932, in the early years of the Great Depression, Franklin Roosevelt and Herbert Hoover were presidential candidates. Interestingly, though they were opposed to each other, both used it in their speeches, perhaps to try to keep public dissatisfaction from exploding.

「ドーナツの穴を見るのではなくドーナツを見よ」 この格言は私たちに、自分が持っているものではなく、自分が持っているものをありがたく思うように教えている。ニューヨークのあるコーヒーショップのオーナーが、1920年代に、買ったばかりの安物の額縁の中にこのちょっとした名言を最初に見つけた。彼は自分の店の壁にこの格言をペンキで書いたので、多くの人がそれを目にする事となった。大恐慌の初期である1932年には、フランクリン・ルーズベルトとハーバート・フーバーが大統領候補であった。興味深いことに、彼ら是对立していたにもかかわらず、2人ともがこの格言を演説の中で使用したが、それはおそらく民衆の不満が爆発するのを抑えようとする目的だったのだろう。

(質問) 話し手はその格言について何と言っているか？

- ① ある大統領候補がそれを額縁の中に見つけた。
- ② それは政府に抗議する時に用いられる。
- ③ それは持っているものに対して感謝すべきだという意味である。
- ④ それはあるコーヒーショップのオーナーによって考え出された。

- ◇ saying 「格言」
- ◇ appreciate ... 「…をありがたく思う」
- ◇ what we have 「我々が持っているもの」 what は関係代名詞である。
- ◇ wisdom 「知恵；名言」
- ◇ a cheap picture frame he'd recently bought 「彼が買ったばかりの安物の額縁」 frame (額縁) と he'd の間に目的格の関係代名詞が省略されている。he'd は he had の短縮形で、この had と過去分詞 bought で過去完了を作っているが、これは主節の述語動詞 saw が表す過去の時よりもさらに過去の時を表すいわゆる大過去の用法である。
- ◇ the Great Depression 「大恐慌」 1929年にアメリカで始まった世界恐慌。
- ◇ Franklin Roosevelt 「フランクリン・ルーズベルト」 (1882-1945) 米国の政治家、第32代大統領 (1933-45)。
- ◇ Herbert Hoover 「ハーバート・フーバー」 (1874-1964) 米国の政治家、第31代大統領 (1929-33)。
- ◇ presidential 「大統領の」
- ◇ candidate 「候補者」
- ◇ be opposed to ... 「…に対立している」
- ◇ keep ... from ~ 「…に～させないようにする」
- ◇ dissatisfaction 「不満」
- ◇ explode 「爆発する」
- ◇ protest against ... 「…に対して抗議する」
- ◇ be grateful for ... 「…に対して感謝する」
- ◇ invent ... 「…を考案する [創り出す]」

4B

British people love animals very much. However, they started to realize the importance of animal welfare only in the eighteenth century. At that time, with the trend toward romanticism and caring about others, British people began to realize that humans and animals are partners, and that human control over animals should not be absolute.

The British Parliament passed the first law designed to promote animal welfare and prohibit the cruel treatment of animals in the nineteenth century. But there were very few who positively supported such a law. That was because many people didn't understand what the term "cruelty to animals" meant. People in those days felt little need to change their behavior toward animals.

Even today, the ill-treatment of pets is a serious social problem. In 2006, the Animal Welfare Act was passed. According to this new law, pet owners must be completely responsible for their pets — the pets should be given a suitable environment and diet, be protected from pain and disease, and be kept from taking part in animal fights. Britain seems to be searching for a way to become the leading nation in the protection of animal rights.

イギリス人は動物をととても愛している。しかし、イギリス人がようやく動物福祉の重要性を理解し始めたのは、18世紀になってからだった。その時代に、ロマン主義や他者に対する配慮を求める風潮もあって、イギリス人は、人間と動物は仲間同士であり、動物への人間の支配は絶対的なものであってはいけないということを理解し始めたのであった。

動物福祉を促進し、動物に対する残酷な扱いを禁じることを目的とした最初の法律をイギリス議会が可決したのは、19世紀であった。しかし、そのような法律を明確に支持した人々は非常に少なかった。なぜなら、多くの人々は、「動物に対する残酷行為」という言葉が何を意味するかがわからなかったのだ。当時の人々は、動物に対する自分たちの態度を改める必要性をほとんど感じていなかったのである。

今日でも、ペットに対する虐待は深刻な社会問題となっている。2006年には、動物福祉法が可決された。この新たな法律によると、ペットの飼い主は自らのペットに対して全面的に責任を負わねばならない — ペットは適切な環境と食事が与えられ、苦痛や病気から守られ、動物同士を戦わせる行為に参加させられないようにしなければならないのである。イギリスは、動物の権利保護を先導する国家になるための方法を模索しているように思われる。

問 23 (質問) 18世紀にイギリス人が理解し始めたのは何か？

- ① 動物は人間によって定められた規則に従わねばならない。
- ② 動物は人間にとって都合がよいように訓練される必要がある。
- ③ 人間は必ずしも動物より優れているわけではない。
- ④ 人間は環境にやさしくしなければならない。



問 24 (質問) 19 世紀に最初の動物福祉法案が可決された際、イギリス人は一般的にはどう感じたか？

- ① 彼らは罪の意識を感じた。                      ② 彼らは楽観的な気分になった。  
 ③ 彼らは喜んだ。                                      ④ 彼らは困惑した。

問 25 (質問) 2006 年の動物福祉法に含まれていないのは、次のうちどれか？

- ① ペットの飼い主は、自らのペットを戦わせてはならない。  
 ② ペットの飼い主は、自らのペットが病気になるのを防止せねばならない。  
 ③ ペットは、健康でいられるだけの十分な食事を与えられねばならない。  
 ④ ペットは、飼い主と知り合いではない人間に譲渡されてはならない。

主な語句・表現

<p>[第 1 段落] (British people love ...)</p>	<p>◇ realize 「…を理解 [認識] する」                      ◇ welfare 「福祉；幸福」                  ◇ trend toward ... 「…を求める風潮；…に向かう傾向」                  ◇ romanticism 「ロマン主義」                  ◇ care about ... 「…のことを気にかける [心配する]」                  ◇ partner 「仲間；パートナー」                      ◇ control 図「支配」                  ◇ absolute 「絶対的な」</p>
<p>[第 2 段落] (The British Parliament ...)</p>	<p>◇ parliament 「議会；国会」                      ◇ pass ... 「〈法案など〉を可決する」                  ◇ designed to - 「…することを目的とした [意図した]」                  ◇ promote ... 「…を促進する」                      ◇ prohibit ... 「…を禁止する」                  ◇ cruel 「残酷な」                                      ◇ treatment 「扱い；待遇」                  ◇ positively 「明確に；積極的に」                      ◇ support ... 「…を支持する」                  ◇ term 「言葉；用語」                                      ◇ cruelty 「残酷な行為；残酷さ」                  ◇ in those days 「当時は [の]」                      ◇ behavior 「態度；行動」</p>
<p>[最終段落] (Even today, the ...)</p>	<p>◇ ill-treatment 「虐待」                                      ◇ act 「法律」                  ◇ according to ... 「…によると」                      ◇ completely 「完全に；全面的に」                  ◇ responsible for ... 「…に対して責任がある」                  ◇ suitable 「適切な」                                      ◇ environment 「環境」                  ◇ diet 「食事」                                              ◇ protect ... 「…を保護する」                  ◇ be kept from -ing 「-しないようにされる」 keep ... from -ing 「…が-するのを防ぐ」                      の受動態。                  ◇ take part in ... 「…に参加する；…に加わる」                  ◇ animal fight 「(闘犬などの) 動物同士の戦い」                  ◇ search for ... 「…を探し求める」                      ◇ leading 「主要な；先導的役割を果たす」                  ◇ protection 「保護」</p>
<p>[設問・選択肢]</p>	<p>◇ the rules set by humans 「人間によって定められた規則」 この set は過去分詞で、set by humans 全体で形容詞句として the rules を修飾している。                  ◇ train ... 「…を訓練 [調教] する」                      ◇ convenience 「好都合；便利」                  ◇ not necessarily ... 「必ずしも…というわけではない」 &lt;部分否定&gt;                  ◇ superior to ... 「…より優れた」                  ◇ environmentally-friendly 「環境にやさしい」 形容詞。</p>